

他団体との連携に関する情報

登録番号	団体名	(N) 千葉国際人財開発
810		
1. 他団体との連携の希望	できれば連携したい	
2. 連携を希望する相手	行政 企業 他の市民活動団体 e 学校	
3. 連携する場合、団体が提供できるもの（こと）	スキルを持った人材を派遣できる。 〔スキルの内容：溶接技術、機械加工、電気・電子技術のモノづくり〕 知識やノウハウを提供できる。	
4. 他団体と連携する際、相手方に費用負担を求めるか	求める 〔※内容や金額、条件等：【例】 地域防災の講演の講師料：10,000 円（約 60 分、交通費別途。小中学生が対象の場合は応相談。）交通費は講師自宅から会場までの実費、講師料は客先との相談に応じる。〕	
5. 他団体と連携した実績（事例）や今後連携する予定		
連携相手（団体等の名称）	連携内容	
6. 他団体と連携して行いたい取組の内容		
連携相手	連携して行いたい取組の内容	
海外における日本の技術協力 に関心がある団体、学校	日本の海外における技術移転といった仕事を通じて現地の人たちの人材育成や関わりについて	
7. 他団体と連携することについての考えや、連携する際の課題など。		